

社会教育だより

social education news

トピックス

第4次小平町社会教育中期計画メインテーマ

学びあう 心がつなぐ ひと・まち・歴史

目指す姿「自主自立する学び」「つながりあう学び」「人を育てる学び」「まちをつくる学び」「自分を生かす学び」

小平町児童生徒鑑賞事業 スーパーアコースティックギター 谷本光コンサート

小平町教育委員会主催の小平町児童生徒鑑賞事業「スーパーアコースティックギター谷本光コンサート」が、25日(火)午後1時半から文化交流センターで開かれ、小平中学校と鬼鹿中学校の全生徒88名が迫力あるギター演奏を楽しみました。谷本光さんは札幌出身のギタリストで、自身のコンサート活動のみならず谷村新司さんなどのコンサートでも演奏を行っています。

谷本さんはアコースティックギターを使って、自身のオリジナル曲をはじめ、「キューティーハニー」などのカバー曲、クラシックギターの定番「禁じられた遊び」などアンコール曲を含めて13曲を披露しました。コンサートの最後に「ステージの前までできませんか」と生徒達に呼びかけ、生徒達に囲まれながら演奏し、生徒らを喜ばせていました。



おびらっ子クラブ「北海道立埋蔵文化財センター 考古学出前講座」



おびらっ子クラブ「考古学出前講座」が、8月29日(土)文化交流センターなどで行われ、クラブ員16名が参加しました。参加者は、北海道立埋蔵文化財センター職員から、小平町内で発見された土器や石器と古代の人々の生活について教えてもらいました。小平には古代の人々が残した遺跡が19カ所も点在し、身近に存在していることを知り驚いている様子でした。

参加者は、古代人がアクセサリーにした「まがだま」づくりに挑戦し、思い思いの「まがだま」をつくり、お互いに見せ合いながら考古学の世界に親しんでいました。



学社融合事業自然体験学習「化石発掘体験」

学社融合事業の一環として、9月9日と14日の2日間に渡り化石発掘体験が行われました。9日は町内の中学生と教員ら31名が参加し、埋蔵文化財資料館でアンモナイトやクビナガリュウが生きていた時代について学びました。その後、参加者は達布地区の上記念別沢で、アンモナイトやイノセラムス(二枚貝)などの化石を発掘しました。

14日には、町内の小学生と教員ら30名が富岡の小楸子川で発掘体験を行いました。参加した児童らは、小楸子川から出る化石や地層の話、ハンマーの使い方や化石の掘り出し方の指導を受けながら化石の発掘に取り組み、新三世紀(約1200万年前)のホタテ貝(二枚貝)などの化石を発見・発掘して、充実した化石発掘体験を楽しんでいました。



うちの子一番クラブ「しゃべカフェ」

うちの子一番クラブ「しゃべカフェ」が9月17日(木)文化交流センターにおいて行われ、町内から5名のお母さん達が参加しました。「しゃべカフェ」は普段育児に追われている保護者の方に、一時だけ子どもから離れて好きなことをしていただくことを目的に開催しています。

最初に、お母さんたちは自己紹介と各自の近況を報告してから、鬼鹿歯科診療所の川上進先生から子どもの歯の磨き方について教えていただきました。その後、お母さんたちは先生を囲んで子どもの歯の日常管理について熱心に幅広い議論を交わしました。

